

「(仮称) 宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」(素案)に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和5年1月17日(火)～2月6日(月)

(2) 意見の応募者数 6名(男性 3名, 女性 3名)

意見数 11件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数		3	2	1	6

2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し, 実施設計に盛り込むもの	4件
B	意見の趣旨等は, 実施設計に盛り込み済みと考えるもの	4件
C	実施設計の参考とするもの	件
D	実施設計に盛り込まないもの	件
E	その他, 要望・意見等	3件
	計	11件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	A	<p>総評について、各基本目標について、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したと記載されているが、総評の記載の仕方として、「第4次計画の後期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言の発出に伴う外出自粛などの行動制限や事業の中止、延期などにより、計画の進捗が厳しかったが、全体としては概ね順調に進捗した」と記載した方が分かりやすいのではないかと。</p> <p>(素案33ページ)</p>	<p>第4次計画の施策事業の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一方で、ICTの活用などにより施策事業を展開し、全体としては概ね順調に進捗したところであります。</p> <p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「新型コロナウイルスの影響により計画の進捗に困難が伴ったが、全体としては概ね順調に進捗した」旨の記載に変更いたします。</p>
2	E	<p>「福祉都市宣言」を基本理念に位置付けていることは素晴らしいと思うが、「福祉都市宣言」は制定されてからかなりの年数を経っており、現在の市民意識とは違っているところもあると思う。特に、「ハンディキャップを持った人々」という言い方は、健常者との比較をしているように聞こえ、今時は、このような意識を持っている方はいないのではないかと。可能であれば、基本理念と位置付けるのだから、今後は、今時の市民意識を踏まえたものとするとも検討してはどうか。</p> <p>(素案46ページ)</p>	<p>「福祉都市宣言」につきましては、少子高齢化など、社会環境の変化が著しい中であっても、普遍性が高く、本市が目指す福祉のまちづくりの基本的な考え方を示すものであると認識しております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の地域福祉の推進にあたっての参考としてまいります。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
3	A	<p>イメージ図に「スーパースマートシティ」と「福祉のまち」の関係を簡単な説明文言を記載した方が市民に分かりやすいと思う。</p> <p>(素案48ページ)</p>	<p>本計画で目指す「福祉のまち」の姿は、スーパースマートシティを構成する社会のひとつである「地域共生社会」の核であり、市民生活に密接な関わりを持つ「福祉分野」におけるまちの姿として位置づけているところでもあります。</p> <p>御意見の趣旨を踏まえ、以下のとおり説明文を追記いたします。</p> <p><u>本計画では、「スーパースマートシティ」を構成する社会のひとつである「地域共生社会」のうち、市民生活に密接な関わりを持ち、地域共生社会の核となる「福祉分野」における「共に支え合うまち」を「福祉のまちの姿」としており、市民の皆様の参画により実現するものです。</u></p>
4	B	<p>自助と互助を強調しているように見える。「共生型地域包括支援センター」と「保健と福祉の相談窓口」が包括的に関わるのはわかるが、このイラストだと「自助・互助」と「公助」を分断しているように見えてしまう。</p> <p>自助と互助、公助と共助がそれぞれ絡み合って地域共生社会は作られると思う。ただ、それを実際にイラストや図に落とすと見えづらくなってしまおうとは思いますが、ご考慮願いたい。</p> <p>(素案48ページ)</p>	<p>イラストにつきましては、「市民」と「地域」では、市民一人ひとりや地域、団体での支え合いを示しており、「公共」は、この支え合いから取り残されることがないようにするための、セーフティネットとして示しているところです。</p> <p>また、市民・地域・行政が連携・協働により地域共生社会の実現に向けて、地域福祉の推進に取り組むという考え方につきましては、本計画に盛り込んでいるところでもあります。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
5	E	<p>第4次計画の後期が、新型コロナウイルスの影響を受け、外出自粛などの行動制限が市民に課せられた状況などから市民意識が低くなってしまったのではないかと。これらのことからすると、現状値が33.7%だからと言って、第5次計画の施策事業を考慮すれば、もう少し高い設定をしてもよいのではないかと。</p> <p>(素案61ページ)</p>	<p>本計画の目標値につきましては、ウィズコロナ・アフターコロナによる人との関わり方の変化や高齢者雇用などの就労環境の変化等、社会情勢の変化や市民アンケート結果を踏まえ設定したところであります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の計画推進の参考としてまいります。</p>
6	A	<p>成果指標である参加者延べ人数110,000人としているが、受け皿となる地域の居場所づくりはどのようになっているのか。参考でも良いので、居場所の整備状況も記載すべきではないかと。</p> <p>(素案70ページ)</p>	<p>「地域の居場所づくり」につきましては、人と人、人と地域のつながりをつくる上で重要であると認識しておりますことから、「共に支え合う地域づくり」の施策に位置づけたところであります。</p> <p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、設置数を参考までに追記いたします。</p>
7	A	<p>目標として新規取組である共生型相談窓口での実績を目標としていると思うが、現状値がないのはわかるが、現状では支援に繋がっている相談がないように見えるため、参考として、市役所と4地区市民センターで実施している保健と福祉の相談窓口の実績を記載とすると、今でも行っているもののバージョンアップを図ることが分かりやすくなり、また、現在でも市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう対応していることがアピールできるのではないかと。</p> <p>(素案84ページ)</p>	<p>本市におきましては、これまでも保健と福祉の相談窓口において、相談支援を行ってきたところではありますが、個人や世帯が抱える複雑化・複合化した福祉課題に対応に向け、相談支援の充実を図るため、「共生型の相談窓口の設置」「多機関協働事業」を本計画の取組に位置づけたところであります。</p> <p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、保健と福祉の相談窓口実績を参考として追記いたします。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
8	E	市民の幸福度を施政の評価の指標にしてはどうか。(ほか1件) また、幸福度の低い人の個別詳細調査もした方が良い。	「幸福度」につきましては、様々な分野の施策が影響するものと考えられ、定義の仕方や調査方法等に課題がありますことから、指標としての取り扱いにつきましては、今後、調査・研究するとともに、個別詳細調査につきましてはご意見として承ります。
9	B	アウトリーチ宅配はコミュニケーション能力があり、市民に信用される人でないといけないため、地域の実情を知るためにも市職員全体の業務として義務化してはいかがか。	アウトリーチにつきましては、必要な支援が届いていない、又は、必要な支援を求められない個人や世帯に適切な支援を届けるための重要な取組のひとつであると考えており、市職員も含めて市民の信用を得たものが行うものであります。
10	B	複数の分野の取組が盛り込まれていることや、2つの計画がひとつになっていることを踏まえると、これまでの計画名では、複数の分野の取組が盛り込まれている理由や2つの計画の関係性など、何のための計画であるのかを捉えにくいことから、計画名を、「地域共生社会の実現に向けた」としたことは、計画の目的が明確となり、とてもわかりやすくなるとともに、「地域共生社会」を知ってもらおうという意味でも良いと思う。	本計画は、「第5次宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」と「宇都宮市成年後見制度利用促進計画」の2つの計画を合わせた総称として、「宇都宮市地域共生の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」としたところであります。

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
11	B	<p>「地域共生社会」はとても大切な考え方であると思うが、自分も含めて、知らない方が多いのではないか。この計画が宇都宮市の目指す「地域共生社会」を知ってもらおう一つのツールになると思うので、計画を知ってもらい、計画の目的や取組について理解し、行動してもらおうための周知啓発がとても大切であると思う。今は多くの媒体があることから、それらを活用し、多くの方に計画や取組を知ってもらい、理解してもらえらるような周知を行うと良いと思う。</p>	<p>「地域共生社会」に係る啓発につきましては、今年度から、プロモーション事業に取り組んでいるところであり、本計画におきましても、「共生の心をはぐくむプロモーション」を取組に位置づけたところであります。</p> <p>引き続き、様々な媒体を活用しながら、理解促進に向けた周知啓発に取り組んでまいります。</p>